



単位型投信 / 海外 / その他資産(バンクローン)

バンクローンファンドUSA (為替ヘッジあり)2014-08

第11期決算と運用状況のお知らせ

ファンド情報提供資料
データ基準日:2017年5月22日

平素は「バンクローンファンドUSA(為替ヘッジあり)2014-08」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。さて、当ファンドは2017年5月22日に、第11期(2017年2月21日～2017年5月22日)の決算を迎え、当期は分配を行わないことといたしましたことをご報告申し上げます。

2017年初から足下までのバンクローン市況は、2016年12月に産油国間で結ばれた減産合意等による堅調な原油価格や米連邦準備制度理事会(FRB)による政策金利の引上げ等を背景として、変動金利商品であるバンクローンへの投資家の資金流入が継続したこと等を受けて上昇しました。こうした市況の上昇を受け、当ファンドの基準価額も回復傾向にあります。ただ、基準価額の水準は、2015年6月から2016年2月にかけて原油価格が下落した局面でのエネルギーセクター下落の影響等が残り、基準価額の水準は依然として10,000円を下回っていることから、基準価額水準と市況動向等を総合的に勘案し、第11期の分配を見送ることといたしました。

今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

分配金と基準価額(2017年5月22日)

分配金(1万口当たり、税引前)

0円

基準価額(1万口当たり、分配落ち後)

9,758円

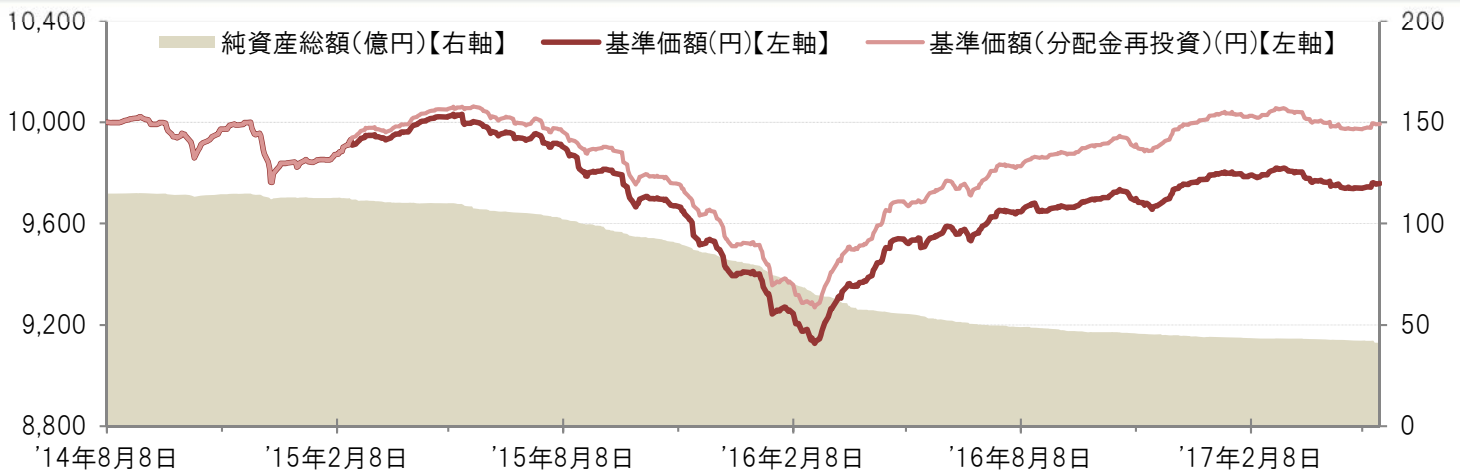
【分配金実績(1万口当たり、税引前)】

第1期 (2014年11月)	第2期～第8期 (2015年2月～2016年8月)	第9期 (2016年11月)	第10期 (2017年2月)	第11期 (2017年5月)	設定来累計
0円	30円	20円	0円	0円	230円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

・収益の分配は、ファンド設定時の予定通り第2回決算日(2015年2月20日)から行っております。

基準価額の推移(期間:2014年8月8日～2017年5月22日)



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
 ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
 ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、単位型投資信託である当ファンドは実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

■上記は、過去の実績・状況、作成時点での見通しまたは分析です。これらは、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

バンクローンファンドUSA(為替ヘッジあり)2014-08

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

米国企業が発行する米ドル建てのバンクローン(貸付債権)等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

・ファンドは信託期間が約3年の単位型投資信託です。
 ・主として円建外国投資信託である「ウエスタン・アセット・米国バンクローン(オフショア)ファンド-JPY ヘッジド・クラス」への投資を通じて、米国企業が発行する米ドル建てのバンクローン等を実質的な投資を行います。また、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンド(わが国の短期公社債等に投資)への投資も行います。(ファンド・オブ・ファンズ方式)

※バンクローンとは

銀行等の金融機関が主に投資適格未満(BB格相当以下)の事業会社等に対して行う貸付債権(ローン)のことです。

主に投資適格未満の相対的に信用力が低い企業に対する貸付債権であるため、投資適格債券(BBB格相当以上)と比較して信用力が低い分、相対的に利回りが高くなっています。

同一発行体について比較した場合、バンクローンは一般的に、担保が付されており、債券等に比べて債務の弁済順位が高いのが特徴です。

バンクローンの利子は主に変動金利となっていて、通常、基準となる短期の市場金利に一定の金利が上乘せされた利子が支払われ、一定期間ごとに見直しが行われます。

・投資対象とする円建外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。

・円建外国投資信託の運用は、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニーが行います。

・円建外国投資信託等への投資にあたり、ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社の投資助言を受けます。

・原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替ヘッジにより、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行うにあたっては、対象通貨間の金利差に基づくヘッジコストがかかります。

<主な投資制限>

・投資信託証券への投資割合に制限を設けません。

・外貨建資産への直接投資は行いません。

<分配方針>

・年4回の決算時(2・5・8・11月の各20日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。

・原則として、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

販売会社(購入・換金の取扱い等)

後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用 … 三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会 一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

バンクローンファンドUSA(為替ヘッジあり)2014-08

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。
したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動リスク

一般に、公社債等の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債等の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

為替変動リスク

組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨建の金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。

信用リスク

組入有価証券等(バンクローンを含みます。以下同じ。)の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。また、バンクローンは、公社債と比べ、一般的に取引量も少ないため、流動性リスクも高い傾向にあります。

ファンドは、格付けの低いバンクローンを投資対象としており、格付けの高い公社債等への投資を行う場合に比べ、信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。
- ・収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- ・金融危機の発生等により、バンクローン等の市場流動性が極端に低下した際には、委託会社の判断により、換金の申込みを中止することがあります。

■リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。
また、定期的開催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。

バンクローンファンドUSA(為替ヘッジあり)2014-08
手続・手数料等
■お申込みメモ

換金単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額－信託財産留保額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日、その他ニューヨークにおける債券市場の取引停止日は、換金のお申込みができません。 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに関し制限を設ける場合があります。
換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象証券の換金の制限、流動性の極端な減少等)があるときは、換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	2017年7月20日まで(2014年8月8日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回る事となった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。なお、投資対象とする外国投資信託が償還する場合には繰上償還となります。
決算日	毎年2・5・8・11月の各20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年4回の決算時に分配を行います。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」の適用対象です。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

バンクローンファンドUSA(為替ヘッジあり)2014-08

手続・手数料等

■ファンドの費用・税金

・ファンドの費用

【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

お客さまが直接的に負担する費用

購入時

購入時手数料	2014年8月8日以降、購入のお申込みはできません。
--------	----------------------------

換金時

信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額 × 0.3%
---------	---------------------------------

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中

運用管理費用 (信託報酬)	当該ファンド: 純資産総額 × 年1.215% (税抜 年1.125%) 投資対象とする投資信託証券: 年0.525% 実質的な負担: 年1.74% (税込) ※投資対象とする投資信託証券における料率を含めた実質的な料率(上限値)を算出したものです。
その他の費用・ 手数料	売買委託手数料等、監査費用、投資対象とする投資信託証券における諸費用等を信託財産からご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※投資対象とする投資信託証券については、資金流入にともない発生する取引費用などによる当該投資信託証券の純資産への影響を軽減するため、資金流入が純流入の場合は純資産価格が上方に、純流出の場合は下方に調整が行われることがあります。したがって、資金流入の動向が投資対象投資信託証券の純資産価格およびファンドの換金価額に影響を与えることとなります。

※運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます)は、その都度信託財産から支払われます。

※購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限ります)には消費税等相当額が含まれます。

※お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

・税金

個人受益者については、収益分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。

なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。／投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

■本資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ国際投信が作成した資料です。／本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。／本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。／本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していません。

■市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

<お客様専用フリーダイヤル> **0120-151034**
受付時間/9:00~17:00(土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

<オフィシャルサイト> <http://www.am.mufg.jp/>

販売会社情報一覧表

ファンド名称: バンクローンファンドUSA(為替ヘッジあり)2014-08

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
静銀ティーエム証券株式会社(*)	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第10号	○			

※商号欄に(*)の表示がある場合、新規申込のお取扱いを中止しております。